

落合恵美子 教授  
略歴 著作目録



# 落合恵美子 教授

## 略歴

### 学 歴

- 1976年4月 東京大学教養学部文科Ⅲ類入学  
1980年3月 同大学文学部社会学科卒業  
1980年4月 東京大学大学院社会学研究科修士課程入学  
1984年3月 同大学院同研究科修士課程修了 社会学修士  
1984年4月 同大学院同研究科博士課程進学  
1987年3月 同大学院同研究科博士課程単位取得満期退学

### 職 歴

- 1986年5月 兵庫県家庭問題研究所主任研究員（～1987年3月）  
1987年4月 同志社女子大学助手（～1988年3月）  
1988年4月 同大学専任講師（～1994年3月）  
1993年4月 ケンブリッジ人口・社会構造史研究所客員研究員（～1994年3月）  
1994年4月 国際日本文化研究センター研究部助教授（～2003年3月）  
2003年4月 京都大学大学院文学研究科助教授（～2004年3月）  
2004年4月 京都大学大学院文学研究科教授（～2023年3月）  
2006年3月 フランス社会科学高等研究院客員研究員（～2006年4月）  
2008年7月 グローバル COE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」  
拠点リーダー（～2013年3月）  
2010年9月 ストックホルム大学客員教授（～2010年10月）  
2012年4月 京都大学文学研究科アジア親密圏 / 公共圏教育研究センター長  
（～2015年3月）  
2012年12月 京都大学アジア研究教育ユニット長（～2015年3月）  
2014年9月 ブレーズ・パスカル国際研究職（Chaire internationale de  
recherche Blaise Pascal）（フランス社会科学高等研究院勤務）

- (～ 2016 年 9 月)
- 2016 年 4 月 京都大学文学研究科アジア親密圏 / 公共圏教育研究センター長  
(～ 2023 年 3 月)
- 2017 年 4 月 京都大学アジア研究教育ユニット長 (～ 2023 年 3 月)
- 2021 年 4 月 南京大学社会学院客員教授 (～ 2023 年 12 月)

### おもな学会活動

- 1981 年 家族問題研究会
- 1984 年 日本社会学会 (1997 ～ 2000 年・2006 ～ 2009 年 理事、2012 ～ 2015 年 常務理事、2018 ～ 2021 年 理事・国際交流委員長、2022 年～ 評議員)
- 1986 年 比較家族史学会 (2005 ～ 2007・2008 ～ 2010 年 理事、2017 ～ 2019 年 会長、2020 ～ 2022・2023 年～理事)
- 1988 年 日本家政学会家族関係部会
- 1992 年 関西社会学会 (1995 ～ 1998 年・2004 ～ 2007 年・2010 ～ 2013 年・2019 ～ 2022 年 理事)
- 1992 年 日本家族社会学会 (1995 ～ 1998・2001 ～ 2004 年・2007 ～ 2010 年 理事)
- 1994 年 Social Science History Association
- 1994 年 日本人口学会
- 1996 年 European Social Science History Association
- 2003 年 日本村落研究学会
- 2004 年 Association for Asian Studies
- 2006 年 International Sociological Association (2010 ～ 2014 年 RC06 理事)
- 2012 年 East Asian Social Policy Association (2012 ～ 2014 年 理事)

### おもな社会活動

- 1991 年 7 月 国民生活審議会専門委員

1996年5月	国土審議会委員
1998年3月	厚生省人口問題審議会専門委員
1998年5月	21世紀日本の構想懇談会委員（内閣総理大臣決裁）
1998年7月	少子化への対応を考える有識者会議メンバー（内閣総理大臣決裁）
1998年10月	経済企画庁国民生活研究会委員
2002年4月	青少年の育成に関する有識者懇談会委員
2003年12月	内閣官房都市再生本部 都市再生戦略チーム委員
2004年9月	京都府男女共同参画審議会委員
2005年10月	日本学術会議会員（～2014年9月）
2012年	The Intimate and the Public Spheres in Asian and Global Perspectives (Brill) シリーズ編者
2014年10月	日本学術会議連携会員
2021年3月	法制審議会家族法制部会委員

## 賞 罰

1994年	第14回山川菊栄婦人問題研究奨励賞（『21世紀家族へ』有斐閣により受賞）
2004年	第2回日本人口学会普及奨励賞（速水融編『歴史人口学と家族史』藤原書店により共同受賞）
2005年	Outstanding Book on Asia Award (presented by the Asian and Asian-American Studies Section of the American Sociological Association) Tommy Bengtsson, Cameron Campbell and James Z. Lee eds., <i>Life Under Pressure: Mortality and Living Standards in Europe and Asia, 1700-1900</i> , the MIT Press により共同受賞
2015年	Choice Outstanding Academic Titles 2014 (アメリカ図書館協会 / 大学・研究図書館協会) Ochiai Emiko and Aoyama Kaoru eds., <i>Asian Women and Intimate Work</i> , Brill により受賞



# 落合恵美子 教授 著作目録

## I 著書

### I-1 単著

- ① 1989, 『近代家族とフェミニズム』 勁草書房, 384 + xv 頁.
- ② 1994, 『21 世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた』 有斐閣, 244 + v 頁.  
[1997, 『21 世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた (新版)』 有斐閣, 281 + ix 頁.]  
[1997, *The Japanese Family System in Transition: A Sociological Analysis of Family Change in Postwar Japan*, Tokyo: LCTB International Library Foundation, 197 + xii pp. (『21 世紀家族へ』 英訳)]
- ③ 2000, 『近代家族の曲がり角』 角川書店, 269 + xi 頁.  
[2004, 『21 세기 가족에게 : 일본의 가족과 사회』 (21 Segi Gajokege: Ilbon wi Gajok goa Sahoe) 서울 : 양서원 (Yangseowon), 326+3 pp. (『21 世紀家族へ』 韓国語訳)]  
[2004, 『21 世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた (第3版)』 有斐閣, 283 + xxii 頁.]  
[2010, 《21 世紀的日本家庭, 何去何从》 (郑杨译) 山东人民出版社, 234 页. (『21 世紀家族へ』 中国語訳)]  
[2012, 『근대가족 길모퉁이를 돌아서다』 (Geundae Gajok, Gilmoutungi-reul Doraseoda) 전미경 (Jeon Mikyung) 訳 동국대학교출판부 (Dongguk University Press), 286 pp. (『近代家族の曲がり角』 韓国語訳)]  
[2019, 『21 世紀家族へ——家族の戦後体制の見かた・超えかた (第4版)』 有斐閣, 316 + xxii 頁.]  
[2021, 《21 世紀的日本家庭, 何去何从》 (郑杨译) 社会科学文献出版社, 308 页. (『21 世紀家族へ (第4版)』 中国語訳)]  
[2022, 『近代家族とフェミニズム (増補新版)』 勁草書房, 375+xxii 頁.]
- ④ 2023, 『親密圏と公共圏の社会学—ケアの20 世紀体制を超えて』 有斐閣, 422 頁.

## I-2 共 著

- ① 1989, 『現代人のライフコース』(三沢謙一・天木志保美・落合恵美子・南育弘・柳原佳子著) ミネルヴァ書房, 234 + xi 頁.
- ② 1990, 『制度としての〈女〉——性・産・家族の比較社会史』(荻野美穂・田邊玲子・姫岡とし子・千本暁子・長谷川博子・落合恵美子著) 平凡社, 322 頁.

## I-3 編 著・共編著

- ① 2006, 『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』(落合恵美子編) ミネルヴァ書房, 448 頁.
- ② 2006, 『21 世紀アジア家族』(落合恵美子・上野加代子編) 明石書店, 211 頁.
- ③ 2007, 『アジアの家族とジェンダー』(落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編) 勁草書房, 319+x 頁.
- ④ 2008, 『分岐する現代中国家族』(首藤明和・落合恵美子・小林一穂編) 明石書店, 363 頁.
- ⑤ 2008, *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, (Emiko Ochiai and Barbara Molony eds.), Folkestone: Global Oriental, 207 pp.
- ⑥ 2009, 『歴史人口学と比較家族史』(落合恵美子・小島宏・八木透編) 早稲田大学出版会, 337+v 頁.
- ⑦ 2009, *The Stem Family in Eurasian Perspective: Revisiting House Societies, 17th-20th Centuries*, (Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds.), Bern: Peter Lang, 558pp.
- ⑧ 2010, 《亚洲社会的家庭和两性关系 ---- 中日韩新泰 (五国六地) 实证和比较研究》(落合恵美子、宮坂靖子、周维宏、山根真理编著) 世界知识出版社, 340 页.  
[2011, วิจัยครอบครัวชาวเอเชียในศตวรรษที่ 21 (อะมิโอะ โอะชิเอะอิ คะโยะโกะ อุเอะโนะ บรรณาธิการ, วรเวศม์ สุวรรณระดา แปลและบทนำฉบับแปล, อรรถชา สุวรรณระดา แปล), สำนักพิมพ์แห่งจุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย. (Worawet Suwanrada and Attaya Suwanrada trans.). Chulalongkorn University Press, 284 pp. (『21 世紀アジア家族』タイ語訳)]
- ⑨ 2012, 『アジア女性と親密性の労働』(落合恵美子・赤枝香奈子編) 京都大学学術出版会, 329 頁.
- ⑩ 2013, 『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』(落合恵美子編) 京都大学学術出版会, 356 頁.
- ⑪ 2013, *Asian Women and Intimate Work* (Ochiai Emiko and Aoyama Kaoru eds.),

Leiden: Brill, 318pp.

- ⑫ 2014, *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity* (Ochiai Emiko and Hosoya Leo Aoi eds.), Leiden: Brill, 314 pp.
- ⑬ 2015, 『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』(落合恵美子編) ミネルヴァ書房, 524+4 頁.
- ⑭ 2015, 『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』(落合恵美子・橘木俊詔編) ミネルヴァ書房, 317 頁.
- ⑮ 2021, *Asian Families and Intimacies*, 4 vols. (Ochiai Emiko and Patricia Uberoi eds.), Delhi: Sage, 304+302+291+311pp.
- ⑯ 2021, 『どうする日本の家族政策』(落合恵美子編) ミネルヴァ書房, 299+x 頁.
- ⑰ 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏 1 家族イデオロギー』(森本一彦・平井晶子・落合恵美子編) 有斐閣, 442+xiii 頁.
- ⑱ 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏 2 結婚とケア』(平井晶子・落合恵美子・森本一彦編) 有斐閣, 489+xiii 頁.
- ⑲ 2022, 『リーディングス アジアの家族と親密圏 3 セクシュアリティとジェンダー』(落合恵美子・森本一彦・平井晶子編) 有斐閣, 464+xiii 頁.
- ⑳ 2022, 『東アジアは「儒教社会」か? ——アジア家族の変容』(小浜正子・落合恵美子編) 京都大学学術出版会, 379 頁.
- ㉑ 2023, 『<わたし>から始まる社会学——家族とジェンダーから歴史、そして世界へ』(平井晶子・中島満大・森本一彦・中里英樹・落合恵美子編) 有斐閣, 330 頁.
- ㉒ 2023 *Japanizing Japanese Families: Regional Diversity and the Emergence of a National Family Model through the Eyes of Historical Demography*, (Ochiai Emiko and Hirai Shoko eds.), Leiden: Brill.

#### I-4 プロシーディングス

- ① 1998, *House and the Stem Family in EurAsian Perspective*, (Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds.), the Proceedings of the C18 Session of the Twelfth International Economic History Congress held in Madrid, August 24-28, Kyoto: EAP, International Research Center for Japanese Studies, 466 pp.
- ② 2002, *The Logic of Female Succession*, (Emiko Ochiai ed.), the Proceedings of the 19<sup>th</sup> International Research Symposium, International Research Center for

Japanese Studies, held in Kyoto, January 10-13, 323 pp.

- ③ 2010, 『いま構築されるアジアのジェンダー——人間再生産のグローバルな再編成』(落合恵美子編) 国際シンポジウム 36, 国際日本文化研究センター, 247 頁.

## II 学術論文

### II-1 学術誌掲載論文 (単著)

- ① 1984, 「出産の社会史における二つの近代」『ソシオロギス』 8: 78-94.
- ② 1984, 「フェミニズム理論における家内性と近代」『女性学年報』 5: 1-11.
- ③ 1985, 「フェミニズムの諸潮流」『ジュリスト増刊総合特集』 39: 238-244.
- ④ 1985, 「〈近代家族〉の誕生と終焉——歴史社会学の眼」『現代思想』 青土社, 13 (6): 70-83.
- ⑤ 1987, 「江戸時代の出産革命——日本版『性の歴史』のために」『現代思想』 青土社, 15(3): 131-141.
- ⑥ 1988, 「現代化路線と『婦女回家』論争のゆくえ」『わかりたいあなたのためのフェミニズム入門』 JICC 出版局, 210-221.
- ⑦ 1988, 「近代家族における子どもの位置」『家族研究年報』 13: 8-14.
- ⑧ 1989, 「育児援助と育児ネットワーク」『家族研究』 1: 109-133.
- ⑨ 1989, 「家族の集団論的パラダイムを超えて」『家族関係学』 8: 51-57.
- ⑩ 1989, “The Modern Family and Japanese Culture: Exploring the Japanese Mother-Child Relationship,” *Review of Japanese Culture and Society*, 3 (1): 7-20, Center for Inter-cultural Studies and Education, Sakado: Josai University.
- ⑪ 1995, 「『個人を単位とする社会』と『親子関係の双系化』」『ジュリスト』 1059: 37-44.
- ⑫ 1995, 「近代家族論の曲がり角 (1)」『日本研究』 12: 89-100, 国際日本文化研究センター.
- [1997, “Decent Housewives and Sensual White Women: Representations of Women in Postwar Japanese Magazines,” *Japan Review*, (9): 151-169, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies. (「ビジュアル・イメージとしての女」(1990) の加筆・英訳)]
- ⑬ 2000, “Debates over the *Ie* and the Stem Family: Orientalism East and West,” *Japan Review*, 12: 105-127, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies.
- ⑭ 2001, 「アジア伝統家族の神話と現実——徳川日本における高齢者の居住形態」『APC アジア太平洋研究』 9: 5-16, アジア太平洋センター.

- [2001, "Myth and Reality of Asian Traditional Families: Living Arrangement of the Elderly in Tokugawa Japan," *Journal of Asian-Pacific Studies*, 9: 7-21. Fukuoka: Asian-Pacific Center. (「アジア伝統家族の神話と現実」(2001)の英訳)]
- ⑮ 2002, 「近世女性奉公人にとっての婚姻と出産—陸奥国安積郡下守屋村人別改帳の数量分析」『女性歴史文化研究所紀要』10: 1-14.
- ⑯ 2003, 「アジアの共働き社会における子育てを支えるもの——中国・タイ・シンガポールの場合」『現代のエスプリ』至文堂, 429: 93-107.
- ⑰ 2004, 「歴史人口学から見た家・村・ライフコース——小農社会論としての家・村論再考」日本村落研究学会編『年報村落社会研究』39: 49-96.
- ⑱ 2004, 「歴史的に見た日本の婚姻——原型か異文化か」『家族社会学研究』15 (2): 39-51.
- ⑲ 2004, 「100歳女性のライフヒストリー——九州海村の恋と生活」『京都社会学年報』12: 57-95.
- ⑳ 2005, 「現代アジアにおける主婦の誕生——グローバル化と近代家族」『日本学報』24: 3-28.
- [2005, 「일본 여성잡지로 보는 여성의 표상: 젠더와 섹슈얼리티의 戰後 체제」(日本の女性雑誌に見る女性の表象——ジェンダーとセクシュアリティの戦後体制) 『美術史論壇』20: 447-75, 韓国美術研究所. (「ビジュアル・イメージとしての女」(1990)の加筆・韓国語訳)]
- ㉑ 2006, 「ユーラシアプロジェクトの達成——歴史人口学と家族史」『社会科学研究』57 (3-4): 57-80.
- ㉒ 2006, "Familles et communautés villageoises du Japon des Tokugawa, diversité géographique et évolutions historiques," *Ebisu : Études japonaises*, 36 : 55-89.
- ㉓ 2007, "The Postwar Japanese Family System in Global Perspective: Familism, Low Fertility, and Gender Roles," *U.S.-Japan Women's Journal*, 29: 3-36.
- ㉔ 2008, 「アジアにおけるケアネットワークと福祉ミックス——家族社会学と福祉社会学との結合」『家族研究年報』33: 3-20.
- ㉕ 2009, "Care Diamonds and Welfare Regimes in East and South-East Asian Societies: Bridging Family and Welfare Sociology," *International Journal of Japanese Sociology*, 18: 60-78.

- ②⑥ 2010, “Quitter l’Occident, rejoindre l’Orient : les ‘deux décennies perdues’ dans l’évolution de la famille au Japon,” *Ebisu : Études japonaises*, 44: 185-204.
- ②⑦ 2010, “Reconstruction of Intimate and Public Spheres in Asian Modernity: Familialism and Beyond,” *Journal of Intimate and Public Spheres*, 0 : 2-22.
- ②⑧ 2011, “Unsustainable Societies: The Failure of Familialism in East Asia’s Compressed Modernity,” *Historical Social Research*, 36 (2): 219-245.
- ②⑨ 2011, “Love and Life in Southwestern Japan : the Story of a One-Hundred-Year-Old Lady,” *Journal of Comparative Family Studies*, 42 (3): 399-409.
- ③⑩ 2011, “Nghịch lý hôn nhân ở Đông Á” (Paradox of Marriage in East Asia), *Tạp chí Nghiên cứu Gia đình và Giới* (Family and Gender Studies) 21 (4): 84-91.  
[2012, 「東アジアの低出生率と家族主義——半圧縮近代としての日本」『哲学研究』593:1-32. (“Unsustainable Societies” (2011) の改稿・和訳)]
- ③⑪ 2013, “Paradigm Shifts in Japanese Family Sociology,” *International Journal of Japanese Sociology*, 22: 104-127.
- ③⑫ 2014, “Leaving the West, Rejoining the East?: Gender and Family in Japan’s Semi-Compressed Modernity,” *International Sociology*, 29: 209-228.
- ③⑬ 2014, 「アジアにおけるケアレジームの比較研究——3つのチャレンジ」『福祉社会学研究』11: 29-45.
- ③⑭ 2013, 「近代世界の転換と家族変動の論理——アジアとヨーロッパ」『社会学評論』64 (4): 533-551, 日本社会学会.
- ③⑮ 2016, 「フランス福祉国家の変容と子どものケア——『アジア化するヨーロッパ』仮説の検討」『京都社会学年報』24: 17-55.
- ③⑯ 2017, 「日本研究をグローバルな視野に埋め直す——『日本』と『アジア』の再定義」『日本研究』55: 85-103.
- ③⑰ 2018, 「法社会学が生み出した学際的ユートピアとその後——家族とジェンダーの社会学の視点から」『法社会学』84: 142-155.
- ③⑱ 2019, 「『アジア』と『日本』の再定義——隣人と共に考えるための知的基盤形成」『社会学評論』70 (3): 200-221.
- ③⑲ 2019, 「親密圏と公共圏の構造転換——ハーバーマスをこえて」『思想』4月号: 146-166, 岩波書店.
- ④⑩ 2022, 「新型コロナが露呈させたジェンダー問題とケアの危機——生を包摂する社会科学とは」『社会政策』13 (3): 42-56.

- ④① 2022, 「『病い』と『ケア』が日常化した社会をいかに回すか——社会科学の自己革新」『学術の動向』27 (9): 39-43.
- ④② 2022, 「アジアと共に考えるための共通基盤形成——『リーディングスアジアの家族と親密圏』刊行のねらいと成果」『家族社会学研究』34 (2): 107-117.
- ④③ 2023, “A New Vista on Asian Families and Intimacies: Creating Common Foundations for Knowledge Production within and on Asia,” *Families, Relationships and Societies*.
- ④④ 2023 (刊行予定), 「Caring Society——生を包摂する社会と社会科学」『フォーラム現代社会学』22.

## Ⅱ-2 学術誌等掲載論文 (共著)

- ① 1991, 「家父長制は誰の利益か——マルクス主義フェミニズム批判」(落合恵美子・落合仁司)『現代思想』青土社, 19 (11): 199-222.
  - ② 1995, “Adoption as an Heirship Strategy under Demographic Constraints: A Case from Nineteenth-century Japan”, (Satomi Kurosu and Emiko Ochiai), *Journal of Family History*, 20 (3): 261-288.
  - ③ 2004, 「変容するアジア社会における育児ネットワークとジェンダー——中国、タイ、シンガポール、台湾、韓国、日本」(落合恵美子・山根真理・宮坂靖子・周維宏・斧出節子・木脇奈智子・藤田道代・洪上旭)『教育学研究』71 (4): 2-18.
  - ④ 2010, 「日本におけるケア・ダイヤモンドの再編成——介護保険は「家族主義」を変えたか」(落合恵美子・阿部彩・埋橋孝文・田宮遊子・四方理人)『海外社会保障研究』170: 4-19
  - ⑤ 2011, “From Foreign Trainees to Unauthorized Workers: Vietnamese Migrant Workers in Japan,” (Danièle Belanger, Kayoko Ueno, Khuat Thu Hong and Emiko Ochiai), *Asian and Pacific Migration Journal*, 20 (1): 31-53.
- [2015, 「日本老年护理结构的重新建构：护理保险能否改变“家庭主义”」(落合恵美子、阿部彩、埋橋孝文等)『社会保障研究』, 2015年第2卷(总第22卷)126-142. (“The Struggle against Familialism“ (2012) の中国語訳) ]
- ⑥ 2021, 「COVID-19 緊急事態宣言下における在宅勤務の実態調査——家族およびジェンダーへの効果を中心に」(落合恵美子・鈴木七海)『京都社会学年報』28:1-13.

## Ⅱ-3 編著書等掲載論文 (単著)

- ① 1987, 「近代とフェミニズム」女性学研究会編『講座女性学 4 女の目で見ると』勁草書房.
- ② 1988, 「変容する家族」井上俊・大村英昭編『社会学入門』日本放送出版協会. (改訂版 1993)  
[1988, 「“現代家庭”的誕生と死亡」(邹鸣译), 『現代外国哲学社会科学文摘』9-12, 上海社会科学院信息研究所. (「近代家族の誕生と終焉」(1985)の中国語訳)]
- ③ 1990, 「ビジュアル・イメージとしての女—戦後女性雑誌が見せる性役割」女性史総合研究会編『日本女性生活史 第5巻 現代』東京大学出版会.
- ④ 1990, 「ある産婆の日本近代——ライフヒストリーから社会史へ」荻野美穂他著『制度としての女』平凡社.
- ⑤ 1990, 「近代家族と日本文化——日本的母子関係を解き口に」城西大学国際文化教育センター・水田宗子編『女性と家族の変容—ポスト・ファミリーへ向けて』学陽書房.
- ⑥ 1991, 「家族の戦後体制とその変容」『国民生活指標』(第2部 豊かさ測定研究会報告) 経済企画庁国民生活局.
- ⑦ 1993, 「家族の社会的ネットワークと人口学的世代——60年代と80年代の比較から」蓮見音彦・奥田道大編『二一世紀日本のネオ・コミュニティ』東京大学出版会.
- ⑧ 1993, 「家事労働力不足の時代」石川実・大村英昭・塩原勉編『ターミナル家族』NTT出版.  
[1993, 「〈近代家族〉の誕生と終焉——歴史社会学の眼」加藤秀一・坂本佳鶴恵・瀬地山角編『フェミニズム・コレクションⅢ』勁草書房 (再録)]
- ⑨ 1994, 「近世末における間引きと出産」脇田晴子・スーザン・ハンレー編『ジェンダーの日本史 上巻』東京大学出版会.  
[1994, 「近代とフェミニズム」井上輝子・上野千鶴子・江原由美子編『日本のフェミニズム 2 フェミニズム理論』岩波書店 (再録)]  
[1995, 「ビジュアル・イメージとしての女——戦後女性雑誌が見せる性役割」井上輝子・上野千鶴子・江原由美子編『日本のフェミニズム 7 表現とメディア』岩波書店 (再録)]
- ⑩ 1996, 「近代家族をめぐる言説」井上俊他編『岩波講座現代社会学 19 〈家族の社会学〉』岩波書店.
- ⑪ 1996, 「家族の戦後体制の成立と崩壊」巽和夫・未来住宅研究会編『住宅の近未来像』学芸出版社.
- ⑫ 1997, 「女性史における近代家族と家——女性学がもたらしたものとその陥穽」比較家族学会編『ジェンダーと女性』早稲田大学出版会.

- ⑬ 1997, 「失われた家族を求めて——徳川社会の歴史人口学」河合隼雄・大庭みな子編『現代日本文化論 2 家族と性』岩波書店.
- ⑭ 1998, 「日本家族の変動とその分析枠組——比較アジア家族変動論へ向けて」竹沢尚一郎編『アジアの社会と近代化——日本・タイ・ベトナム』日本エディタースクール出版部.
- ⑮ 1998, 「家族史の方法としての歴史人口学」野々山久也・渡辺秀樹編『家族研究の理論と技法——家族社会学入門 社会学研究シリーズ 1』文化書房博文社.
- ⑯ 1998, “Familie und Geschlechterbeziehung in Japan seit Ende des Zweiten Weltkrieges bis zur Gegenwart,” Hilaria Gössmann (Hg.), *Das Bild der Familie in den japanischen Medien*, München: Iudicium.
- [1999, “The Reproductive Revolution at the End of the Tokugawa Period”, Tonomura, Hitomi, Anne Walthall and Wakita Haruko eds., *Women and Class in Japanese History*, Ann Arbor: University of Michigan Press. (「近世末における間引きと出産」(1994) の英訳)]
- [1999, “Modern Japan through the Eyes of an Old Midwife: From an Oral Life History to Social History,” Wakita, Haruko et al. eds. *Gender in Japanese History*, Osaka: University of Osaka Press. (「ある産婆の日本近代—ライフヒストリーから社会史へ」(1990) の英訳)]
- ⑰ 1999, 「速水融『近世農村の歴史人口学的研究』」筒井清忠編『日本の歴史社会学』岩波書店.
- ⑱ 1999, 「少子高齢社会とジェンダー」池内靖子他編『21世紀のジェンダー論』晃洋書房. (改訂版 2004)
- [1999, “Frameworks for the Analysis of the Changing Japanese Family: Towards a Comparative Theory of Family Change in the Asian Context,” Shoichiro Takezawa ed., *Family Community and Modernization in Asian Societies: Japan, Vietnam and Thailand*, Fukuoka: Asian-Pacific Center. (「日本家族の変動とその分析枠組」(1998) の英訳)]
- ⑲ 2002, 「『二足のわらじ』の到達点——森岡清美の足跡と現在」比較家族史学会編『家族——世紀を超えて』日本経済評論社.
- ⑳ 2003, 「タイ都市中間層の形成と家族の幸福」青木保他編『アジア新世紀 4 幸福』岩波書店.
- ㉑ 2003, 「個人の視点からの家族史——幕末維新期における関東農民のライフコース」河

合隼雄編著『個人の探求』NHK 出版.

- ②② 2004, "Post War Transition in the Japanese Family," Toshiko Tsukaguchi-Ie Grand and Carl Ie Grand eds., *Women in Japan and Sweden: Work and Family in Two Welfare Regimes*, Stockholm: Stockholm University.
- ②③ 2005, 「エロティックな公共性」若尾祐司・栖原弥生・垂水節子編『革命と性文化』山川出版社.
- ②④ 2005, 「世界のなかの戦後日本家族」歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座第10巻 戦後日本論』東京大学出版会.
- [2005 "The *Ie* (Family) in Global Perspective," Jennifer Robertson ed., *Companion to the Anthropology of Japan*, Oxford: Blackwell. ("Two types of Stem Household System in Japan: the *Ie* in Global Perspective"(1998)を改稿・収録)]
- ②⑤ 2006, 「徳川日本のライフコース」落合恵美子編『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房.
- [2006, 「高齢者の『子ども』との同居」落合恵美子編『徳川日本のライフコース——歴史人口学との対話』ミネルヴァ書房. («アジア伝統家族の神話と現実」(2001)を改稿・収録)]
- ②⑥ 2006, 「家族主義政策の帰結としての超低出生率——家族サポート・ネットワーク再編成の失敗」北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”編『ムーブ叢書ジェンダー白書4 女性と少子化』明石書店.
- ②⑦ 2006, 「変容するアジア家族とジェンダー——5地域比較調査から」北原淳他編『地域研究の課題と方法—アジア・アフリカ社会研究入門 (実証編)』文化書房博文社.
- ②⑧ 2007, 「アジア市民社会における家族とジェンダー——『第2の近代』の岐路」棚瀬孝雄編『市民社会と法——変容する日本と韓国の社会』ミネルヴァ書房.
- ②⑨ 2007, 「グローバル化する家族——台湾の外国人家事労働者と外国人妻」紀平英作編『グローバル化時代の人文学』京都大学出版会.
- ③⑩ 2008, 「現代中国都市家族の社会的ネットワーク——無錫市の事例から」首藤明和・落合恵美子・小林一穂編『分岐する現代中国家族』明石書店.
- ③⑪ 2008, 「近代家族は終焉したか——調査結果が見せたものと隠したもの」NHK放送文化研究所編『現代社会とメディア・家族・世代』新曜社.
- ③⑫ 2008, 「京都大学男女共同参画推進に関する意識・実態調査から」京都大学女性研究者支援センター編『京都大学 男女共同参画への挑戦』明石書店.
- ③⑬ 2008, "Researching Gender and Childcare in Contemporary Asia," Emiko Ochiai

and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, London: Global Oriental.

[2008, "The Birth of the Housewife in Contemporary Asia: Globalization and the Modern Family," Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia's New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, London: Global Oriental. (「現代アジアにおける主婦の誕生」(2005)の英訳)]

[2009, "Two types of Stem Household System in Japan: the *Ie* in Global Perspective," Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds., *The Stem Family in EurAsian Perspective*, Bern: Peter Lang. ("Two types of Stem Household System in Japan: the *Ie* in Global Perspective" (1998)を改稿・収録)]

③4 2009, 「序論——歴史人口学と比較家族史」落合恵美子・小島宏・八木透編『歴史人口学と比較家族史』早稲田大学出版会.

[2009, 「ビジュアル・イメージとしての女——戦後女性雑誌が見せる性役割」天野正子他編『新編 日本のフェミニズム7表現とメディア』岩波書店. (「ビジュアル・イメージとしての女」(1990)を再録)]

③5 2011, 「個人化と家族主義—東アジアとヨーロッパ、そして日本」ウルリッヒ・ベック・鈴木宗徳・伊藤美登里編『リスク化する日本社会—ウルリッヒ・ベックとの対話』岩波書店.

③6 2012, 「親密性の労働とアジア女性の構築」落合恵美子・赤枝香奈子編『アジア女性と親密性の労働』京都大学出版会.

③7 2013, 「アジア近代における親密圏と公共圏の再編成——『圧縮された近代』と『家族主義』」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会.

[2013, 「東アジアの低出生率と家族主義——半圧縮近代としての日本」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会. ("Unsustainable Societies" (2011)の改稿・和訳)]

[2013, 「ケアダイヤモンドと福祉レジーム——東アジア・東南アジア6社会の比較研究」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会. ("Care Diamonds and Welfare Regimes in East and South-East

Asian Societies” の和訳]

- ③⑧ 2013, “The Logics of Family and Gender Changes in Early 21st-Century East Asia,” Cho Joo-Hyun ed. *East Asian Gender in Transition*, Daegu : Keimyung University Press.
- [2013, “Introduction: Intimate Work and the Construction of Asian Women,” Ochiai Emiko and Aoyama Kaoru eds., *Asian Women and Intimate Work* Leiden: Brill. (「親密性の労働とアジア女性の構築」(2012) の英訳)]
- [2014, 「亚洲女性与亲密性劳动」李卓・胡膨主编『亚洲社会发展与女性参与』中国社会科学出版社. (「親密性の労働とアジア女性の構築」(2012) の中国語訳)]
- [2014, “Reconstruction of Intimate and Public Spheres in Asian Modernity,” Ochiai Emiko & Hosoya Leo Aoi eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill. (「アジア近代における親密圏と公共圏の再編成」(2013) の英訳)]
- [2014, “Unsustainable Societies: Low Fertility and Familialism in East Asia’s Compressed and Semi-compressed Modernities,” Ochiai Emiko and Hosoya Leo Aoi eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill. (“Unsustainable Societies” (2011) の改稿・再録)]
- [2014, “Care Diamonds and Welfare Regimes in East and Southeast Asian Societies: Bridging Family and Welfare Sociology,” Ochiai Emiko and Hosoya Leo Aoi eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Leiden: Brill, 166-189. (“Care Diamonds and Welfare Regimes in East and Southeast Asian Societies” (2009) の改稿・再録)]
- [2015, 「家族社会的悖論 - 东亚社会为何不能继续」金一虹、史丽娜編『中国家庭变迁和国际视野下的家庭公共政策研究』南京师范大学出版社. (“Unsustainable Societies” (2011) の改稿・中国語訳)]
- ③⑨ 2015, “Marriage Practices and Trends,” Stella R. Quah ed. *Routledge Handbook of Families in Asia*, Oxon. and NY : Routledge.
- ④⑩ 2015, 「序論 徳川日本の家族と地域性研究の新展開」落合恵美子編『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』(編著) ミネルヴァ書房.
- [2015, 「日本における直系家族システムの2つの型——世界史的視野における『家』」落合恵美子編『徳川日本の家族と地域性——歴史人口学との対話』(編著) ミネルヴァ書房. (“Two types of Stem Household System in Japan: the *Ie* in

Global Perspective” (2009) を和訳]

- ④1 2015, 「時代の転換をデザインするジェンダー」 落合恵美子・橋木俊詔編 『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』 ミネルヴァ書房.
- ④2 2018, 「つまずきの石としての1980年代——「縮んだ戦後体制」の人間再生産」 アンドルー・ゴードン・瀧井一博編 『創発する日本へ——ポスト「失われた20年」のデザイン』 弘文堂.
- ④3 2020, “The Logics of Gender Construction in Asian Modernities,” Jieyu Liu and Junko Yamashita eds., *Routledge Handbook of East Asian Gender Studies*, Routledge.
- ④4 2021, 「高齢化社会と“长寿革命”」 张季风・胡澎・吴小英編 『少子高齢化社会と家庭——中日政策与实践比较』 社会科学文献出版社.
- ④5 2021, “Introduction: Care and Familialism Reconsidered,” Ochiai and Uberoi eds., *Asian Families and Intimacies*, Sage.
- ④6 2021, 「家族をひらく家族政策」 落合恵美子編 『どうする日本の家族政策』 ミネルヴァ書房.
- ④7 2021, 「子育て支援——社会が共同して負担すべきものは何か」 落合恵美子編 『どうする日本の家族政策』 ミネルヴァ書房.
- ④8 2022, 「序論 アジアの重層的多様性——セクシュアリティとジェンダーから見る」 落合恵美子・森本一彦・平井晶子編 『アジアの家族と親密圏3 セクシュアリティとジェンダー』 有斐閣.  
[2022, 「百歳女性のライフヒストリー——九州海村の恋と生活」 落合恵美子・森本一彦・平井晶子編 『アジアの家族と親密圏3 セクシュアリティとジェンダー』 有斐閣.
- ④9 2022, 「親族構造・文明化・近代化——世界的視野における『儒教社会』」 小浜正子・落合恵美子編 『東アジアは「儒教社会」か? ——アジア家族の変容』 京都大学学術出版会.
- ⑤0 2023, 「パーソナル・イズ・ポリティカル——<わたし>から始まる社会学のゆくえ」 平井晶子・中島満大・森本一彦・中里英樹・落合恵美子編 『<わたし>から始まる社会学——家族とジェンダーから歴史、そして世界へ』 有斐閣.

#### II-4 編著書等掲載論文 (共著)

- ① 1994, 「女性と男性のこれからの働き方」 (落合恵美子・赤川学) IBM ワークライフ研究会 『ワークライフの転換』 日本アイ・ビー・エム株式会社.

- ② 2001, "Household Structure and Demographic Factors in Pre-industrial Japan," (Akira Hayami and Emiko Ochiai), Ts'ui-jung Liu et al. eds., *Asian Population History*, Oxford: Oxford University Press.
- ③ 2002, "Family Crisis in the Context of Different Family Systems: Frameworks and Evidence on 'When Dad Died'" (Michel Oris and Emiko Ochiai), Renzo Derosas and Michel Oris eds., *When Dad Died*, Bern: Peter Lang.
- [2002, 「人口学的制約と養子——幕末維新时期多摩農村における継承戦略」(黒須里美・落合恵美子) 速水融編『近代移行期の家族と歴史』ミネルヴァ書房. ("Adoption as an heirship strategy under demographic constraints" (1995) の和訳)]
- ④ 2004, 「中国明代黄冊の歴史人口学的分析——万曆徽州黄冊底籍に見る世帯・婚姻・承継」(落合恵美子・周紹泉・侯楊方) 佐藤康行編『変貌する東アジアの家族』早稲田大学出版会.
- ⑤ 2004, "Family and Community Standards," (James Lee, Tommy Bengtsson, Cameron Campbell, Marco Breschi, Michel Oris and Emiko Ochiai), Tommy Bengtsson, Cameron Campbell and James Lee eds., *Life Under Pressure: Mortality and Living Standards in Europe and Asia, 1700-1900*, Boston: MIT Press.
- [2004, 「明代黄冊底籍中の人口と家庭——以万历徽州黄冊底籍为中心」(周紹泉・侯楊方・落合恵美子) 张国刚主编『家庭史研究の新視野』北京: 三联书店. («中国明代黄冊の歴史人口学的分析」(2004) の中国語訳)]
- [2006, 「変容するアジア社会における育児ネットワークとジェンダー——中国、タイ、シンガポール、台湾、韓国、日本」(落合恵美子・山根真理・宮坂靖子・周維宏・斧出節子・木脇奈智子・藤田道代・洪上旭) 広田照幸編『リーディングス日本の教育と社会③子育て・しつけ』日本図書センター. («変容するアジア社会における育児ネットワークとジェンダー」(2004) の再録)]
- ⑥ 2007, 「アジアの家族とジェンダーを見る視点——理論と方法」(落合恵美子・山根真理・宮坂靖子) 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- ⑦ 2007, 「アジアの家族とジェンダーの地域間比較——多様性と共通性」(落合恵美子・山根真理・宮坂靖子) 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『アジアの家族とジェンダー』勁草書房.
- ⑧ 2007, 「中国の高齢者」(周維宏・落合恵美子) 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編『ア

ジアの家族とジェンダー』勁草書房。

- ⑨ 2007, 「国際移動の女性化——国際結婚を中心に」(落合恵美子・石川義孝・Liaw Kao-lee) 石川義孝編『人口減少と地域』京都大学出版会。
- ⑩ 2008, “Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies,” (Ochiai Emiko, Yamane Mari, Miyasaka Yasuko, Zhou Weihong, Onode Setsuko, Kiwaki Nachiko, Fujita Michiyo and Hong Sang Ook) In Emiko Ochiai and Barbara Molony eds., *Asia’s New Mothers: Crafting Gender Roles and Childcare Networks in East and Southeast Asian Societies*, London: Global Oriental.
- ⑪ 2009, “Introduction,” (Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai) Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds., *The Stem Family in EurAsian Perspective*, Bern: Peter Lang.
- ⑫ 2010, “Feminization of immigration in Japan: marital and job opportunities,” (Kao-Lee Liaw, Emiko Ochiai and Yoshitaka Ishikawa) Yang Wen-Shan and Melody Lu eds., *Asian Cross-border Marriage Migration*, Amsterdam: Amsterdam University.
- ⑬ 2012, “The Struggle against Familialism: Reconfiguring the Care Diamond in Japan,” (Emiko Ochiai, Aya Abe, Takafumi Uzuhashi, Yuko Tamiya and Masato Shikata) Shahra Razavi and Silke Staab eds., *Global Variations in the Political and Social Economy of Care : Worlds Apart*, New York and London : Routledge.
- ⑭ 2014, “Prime Ministers’ Discourse in Japan’s Reforms since the 1980s: Traditionalization of Modernity rather than Confucianism,” (Emiko Ochiai and Kenichi Johshita) Sirin Sung and Gillian Pascall eds., *Gender and Welfare State in East Asia: Confucianism or Equality?*, Palgrave.
- [2015, 「歴代首相の国会発言に見る「家族」と「女性」——「失われた20年」のイデオロギー背景」(落合恵美子・城下賢一) 落合恵美子・橋本俊詔編『変革の鍵としてのジェンダー——歴史・政策・運動』ミネルヴァ書房。(“Prime Ministers’ Discourse in Japan’s Reforms since the 1980s” (2014) の和訳・改稿)]
- ⑮ 2021, “Editors Introduction: Asian Families and Intimacies” (Emiko Ochiai and Patricia Uberoi) Ochiai and Uberoi eds., *Asian Families and Intimacies*, Sage.

- ⑩ 2022, 「子ども虐待を防ぐ養育者支援——生物学的・社会的要因の相互作用」(黒田公美・落合恵美子・犬塚峰子・阿部正浩) 黒田公美編 『子ども虐待を防ぐ養育者支援』岩崎学術出版社.
- ⑪ 2022, 「深刻な子ども虐待の生物・心理・社会的要因：小中学校で一貧困・ひとり親・外国ルーツ・孤立の影響」(郭雲蔚・姚逸葦・落合恵美子) 黒田公美編 『子ども虐待を防ぐ養育者支援』岩崎学術出版社.

## II-5 その他 (一部)

- ① 1982, 「消費者団体参加と運動への動員——手賀沼問題を事例として」(平賀 [旧姓] 恵美子・三浦耕吉郎・好井裕明) 現代社会研究会編 『環境・消費者問題をめぐる行政と住民——琵琶湖問題と合成洗剤問題』東京大学文学部社会学研究室.
- ② 1998, “Introduction,” (Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai) Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds., *House and the Stem Family in EurAsian Perspective*, Kyoto: EAP, International Research Center for Japanese Studies.
- ③ 1998, “Two types of Stem Household System in Japan: the *Ie* in Global Perspective,” Antoinette Fauve-Chamoux and Emiko Ochiai eds., *House and the Stem Family in EurAsian Perspective*, Kyoto: EAP, International Research Center for Japanese Studies.
- ④ 2002, “Introduction,” Emiko Ochiai ed., *The Logic of Female Succession*, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies.
- ⑤ 2006, 「現代日本における移民の女性化と国際結婚」(落合恵美子・石川義孝・Liaw Kaolee) 石川義孝編 『人口停滞・減少時代の人口地理学の諸問題』2003-2005年度科学研究費補助金研究成果報告書(15202024), 京都大学.
- ⑥ 2006, 「タイ都市中間層の家族」橋本卓編 『タイの住民自治制度の発展と市民社会形成の可能性』2003-2005年度科学研究費補助金研究成果報告書(15402017), 同志社大学.
- ⑦ 2006, 「西南日本に生きた100歳女性の恋と生活——ジェンダーをめぐる伝統と近代と『創造された伝統』」橋本泰子編 『アジア家族の変容と「伝統の創造」に関する比較研究』2003-2005年度科学研究費補助金研究成果報告書(15402041), 四国学院大学.
- ⑧ 2014, “The Meaning of the Second Demographic Transition and the Establishment

of a Mature Society,” *European Societies* , 16 (3): 343-6.

- ⑨ 2017, 「つまずきの石としての 1980 年代——『半圧縮近代』日本の困難」瀧井一博編『失われた 20 年と日本研究のこれから／失われた 20 年と日本社会の変容』（海外シンポジウム 2015 報告書）国際日本文化研究センター.
- ⑩ 2019, “Toward a Theory of Human Life in Mature Societies: European , American and East Asian Paths to Go Beyond the 20<sup>th</sup> Century Model of Social Reproduction,” <Asia and the World> Public Lecture Series, GSIS (Graduate School of International Studies), Seoul National University.
- ⑪ 2020, 「『少子化』と向き合うために知ってほしい四つのポイント」『月刊 Journalism』359, 朝日新聞社.
- ⑫ 2021, 「1970 年代以降の人口政策とその結果——アジアにおけるケアの脱家族化を中心に」『「人口動態と経済・社会の変化に関する研究会」報告書』財務総合政策研究所.
- ⑬ 2022, 「家族史と歴史人口学の架橋」日本人口学会研究企画委員会編『日本人口学会研究企画委員会報告書 歴史人口学の課題と展望』日本人口学会.
- ⑭ 2022, 「母親の育児環境と心身健康に関する一考察」（落合恵美子・郭雲蔚・姚逸葦）東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター Working Paper Series Vol. 25.
- ⑮ 2022, 「養育者支援の目標家庭に関する一考察」（落合恵美子・郭雲蔚・姚逸葦）東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター Working Paper Series Vol. 26.

### Ⅲ 翻 訳（一部）

- ① 1988, 「クレイスウォースとクックノー」（ピーター・ラスレット著、落合恵美子・中村伸子訳）斎藤修編『家族と人口の歴史社会学』リプロポート.
- ② 2003, 「世帯構造とは何か」（E. A. ハメル・ピーター・ラスレット著）速水融編『歴史人口学と家族史』藤原書店.